

# 活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和6年4月27日（土）8時30分～15時00分	天気	晴れ 28.0℃ 49%	
参加者	安久、梅田、白川、白松、浜田、平野、目黒（一）			計7名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	ナタ			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	—		梅田、白川、浜田、平野	
区域	B地区、A地区（植生調査地）			
作業内容	①枯損木の林外搬出			



景観を取り戻すため、林内整理を行った



前回までの作業で残っていた、材の玉切り



資材搬送車を近くに寄せられるので、負担が少ない



辺り一面に、コナラの実生苗が出現していた

次回の予定：定例活動9:00～  
5月11日（土）イヌシデ広場集合  
5月19日（日）イヌシデ広場集合

イベント：

5月4日（土）クレマチスフェア  
5月11日（土）木もれびの森づくり

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

- 明け方まで降っていた小雨の割には湿度が低かったが季節外れの高温に見舞われたので早くも熱中症に警戒しながら、有志を募って定例活動内では終わらせることのできなかった伐木材の林外搬出までの作業を実施した。
- 以前は道路際に停めた車まで玉切りした材を持って林内を歩いたり一輪車に乗せて運んだりしていたが、今では資材搬送車を玉切りして山積みされた材の近くに寄せられるので、作業効率が向上し、身体への負担も激減した。
- コナラの足元には、昨年秋に重力散布されたドングリが辺り一面に実生苗として成長していた。このままだと、やがて他の植物の蔭になって淘汰されてしまうので、まだ根が浅いうちに掘り出して植樹苗として育成したい。